

脳の健康状態を「見える化」。認知機能低下の予防に向けた「脳ドック用AIプログラム」を導入。

二〇二三年一月、「岡山旭東病院健康センター」に新たな脳ドックオプションとして『Brain Life Imaging®』が導入された。現在、全国の医療機関から注目を集めている、この脳ドック用AIプログラム、導入への思いを土井章弘センター長はこう話す。

「日本は長寿国になりましたが、それに伴い認知症への対処が課題となっています。現在、治療薬をはじめさまざまな分野で研究開発が進んでいますが、やはり重要なのは発症する前に脳の健康状態を把握し、早期発見、早期治療につなげる取り組みです。今回導入した『Brain Life Imaging®』で、脳の状態を詳細に解析することによって、受診者さん一人ひとりに適

した生活改善へのきっかけにつながればと思っています」。

この『Brain Life Imaging®』を開発・提供する「株式会社Splink」は、ブレインヘルスケア領域の医療AIスタートアップ。同社の青山裕紀代表取締役は『Brain Life Imaging®』の特徴をこう説明する。「これまでの一般的な脳ドックは脳梗塞や脳動脈瘤、過去に生じた無症候性脳卒中などを検査するものでしたが、『Brain Life Imaging®』は人工知能(AI)を活用し、目視による確認が難しい小指程度の大きさしかない海馬(記憶を司るといわれている)を解析することで、頭部MRIの撮影画像から海馬体積を測定することが可能になりました」。

脳から始まる新しいヘルスケア。現役世代にも関心を持ってほしい。

脳神経外科の医師として二〇年にわたり脳ドックに携わってきた別宮博一医師は『Brain Life Imaging®』の可能性に期待を寄せる。「土井センター長が指摘するように、近年では脳卒中から認知症への対処に関心が高まっています。本人は元気なつもりでも、検査すれば脳の萎縮など認知症の予兆がわかるケースも少なくありません。だからこそ高齢者だけでなく、バリバリ働いている現役世代の人にも健康な時から自分の脳に関心を持つてほしいですね。脳の状態を「見える化」できる『Brain Life Imaging®』がそのきっかけになってくれるものと期待しています」。

「脳も身体と同様、食事や運動など生活習慣でその健康状態は変わり続けます。毎日の生活の中でQOLを上げる意識と努力が大切です」と三人の思いは一致する。脳ドックを定期的に受け、経年変化を診ていくことが早期発見、早期予防につながり、脳の健康維持につながる。認知機能低下を予防する「脳から始まる新しいヘルスケア」に期待が集まっている。

お問合せ 岡山旭東病院 健康センター
086・276・7870 (平日10時~17時)



健康センター
脳ドック専任
別宮博一

株式会社Splink
代表取締役
青山裕紀

健康センター
センター長
土井章弘

NEWS

記憶を司る海馬を検査し、認知症を早期発見! 10月から開始

脳ドックのオプション検査

AI-脳解析プログラム~Brain Life Imaging®+~

価格:1万5290円 ※脳ドックの検査費用が別途必要です

【Brain Life Imaging®】

検査内容

- ・海馬体積(mm²)
- ・海馬体積からみた海馬年齢
- ・経年による海馬体積の変化

【CQテスト®】

検査内容

- ・記憶力
- ・注意力
- ・空間認知能力 等



海馬測定
&
認知機能
テスト



お問い合わせ・ご予約は
岡山旭東病院 健康センター
086-276-7870
受付時間/
平日10時~17時



動画配信のご案内

当院のYouTubeチャンネルにて、転倒予防を中心に健康情報を配信しています。運動方法や自宅の環境整備についてなど、愉しく学べる動画を毎月更新しています。ぜひチャンネル登録してみてください。

岡山旭東病院
YouTube チャンネル▶



No.126

おとな、暮らし、ときどきプレミアム

20th
ANNIVERSARY
since 2003

2023

11-12月号

850円

(本体773円)

オセラ

街なか・郊外の

おいしい 隠れ家

まち・みち案内
兵庫県福崎町

毎日帰りたくなる、

MY FAVORITE LIFE

サイクリングを愉しもう

心躍る、手土産・お取り寄せ手帖。

大人のためのご馳走。

とっておきを探しに。/ Doctor's Eye